

授業科目	こどもの生活とあそび（CD クラス）				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21512J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP3-1 DP5-3			
担当教員	村上 里絵							
授業概要	就学前における「遊び」と「学び」と、小学校教科「生活科」の目標及び学習内容との関連について説明する。また、現代の子どもを取り巻く家庭・社会・自然環境の中での望ましい子どもの育ちを模索し、保育の役割、活動の意味、環境構成の重要性について理解が深められるようにする。							
学生が達成すべき行動目標	1.小学校における生活科の教科目標や評価のポイント・趣旨を説明できる。 2.生活科の学習内容について知り、「遊び」の内容や教材、活動と援助について実践できる。 3.保育所・幼稚園・認定こども園・小学校との連携について理解し、説明ができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	0	0	40	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			50	0		20	70	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)			10	0		20	30	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
小学校の教科「生活科」と保育内容との関連、子どもの学びの連続性があることを理できる。新聞・テレビなどで、社会における子どもの実情に関心を持ち、把握し説明することができる。積極的な実習への取り組みやボランティア活動などを通して、子どもの生活と遊びに関心を深める。				乳幼児期の生活や遊びの楽しさを味わい、思い出しながら、学びを深める。幼稚園・保育園・認定こども園と小学校との接続を理解して、子どもの「遊び」や「活動」と小学校での「生活科」との関連を把握する。また、子どもの学びの連続性について、考え、理解を深める。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	「オリエンテーション」授業概要について、また授業目標と評価の仕方について説明する。	講義		
2	幼小の「違い」と「共通点」 分ける教育とつなげる教育	講義	テキスト第1章を読んでおくこと	
3	学びと教材 「内容を学ばせる」小学校と「学んだことが内容になる」幼稚園	講義	上記に同じ	
4	幼稚園側から見た「連携」とは	講義	テキスト第2章を読む	
5	幼稚園側から見た「連携」とは	講義	上記に同じ	
6	幼稚園での学びが小学校へどうつながるか 事例1～5	上記に同じ	テキスト第3章を読む	
7	幼稚園での学びが小学校へどうつながるか 事例6～12	上記に同じ	上記に同じ	
8	なめらかな連携を図る「合同保育／授業」 事例1～8	上記に同じ	テキスト第4章を読む	
9	なめらかな連携を図る「合同保育／授業」 事例9～14	上記に同じ	上記に同じ	
10	なめらかな連携を図る「合同保育／授業」 事例15～16	上記に同じ	上記に同じ	
11	幼小の連携を成功させる秘訣 事例を通して考える	上記に同じ	テキスト第5章を読む	
12	接続・連携の6つのレベル 及び グループ分けとグループワークの説明	上記に同じ	上記に同じ	
13	グループワーク① テーブルゲーム 「遊び」と「学び」を体験する	演習		
14	グループワーク② テーブルゲーム 「遊び」と「学び」を考える	演習		
15	グループワーク③ テーブルゲーム 「生活」「遊び」と「学び」を捉える	演習		
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>保育実践に必要な「保育計画」「指導計画」が立てられることが重要ですが、その次の段階で、子どもたちの理解を促す「説明」は不可欠です。グループワークをする際、保育者の役割を担って進めます。人前で「説明する」「相手に分かるように話す」等の苦手意識を克服して、子どもと楽しめる保育実践が展開できるように技能を磨きましょう。</p>			
テキスト	<p>木下光二著「育ちと学びをつなげる幼小連携—小学校教頭が幼稚園へとび込んだ2年間—」チャイルド社 2010年</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>金澤和子・編著「赤ちゃん和絵本で遊ぼう！0～3歳季節のおはなし会プログラム」—声社 渡邊葉子「うたと積木とおはなしと—遊びと発達—」エイデル研究所 神長美津子・酒井幸子・田代幸代・山口哲也編著「すごい！ふしぎ！おもしろい！子どもと楽しむ自然体験活動・保育力をみがくネイチャーゲーム・」光生館</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>授業にて説明する</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>レポート(70%)、授業貢献度(30%)</p>			